

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長:ジェニファー E. ジョーンズ
 第 2550 地区ガバナー: 佐貫直通
 事務所:〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
 ペルヴィ宇都宮内
 TEL:028-651-2550
 FAX:028-651-2551
 E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



会長: 植竹一裕 幹事: 大島三千三
 事務局: (有)大島商店 大島三千三
 代表取締役 大島三千三
 〒329-3155 那須塩原市笹沼262
 TEL:0287-65-0863 FAX:0287-65-3381
 E-mail:3003@mvp.biglobe.ne.jp
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2988回 植竹年度第24回例会会報 2023-3-1 司会 永山三芳君

誕生祝い

大島三千三君・安藤譲治君
 (北島大輔君・泉道夫君)



○ 那須野が原郷土史研究会
 会長 野崎賢治 様

結婚祝い

澤田吉夫君・(荒井昌一君)



会長挨拶 植竹一裕会長

2月19日(日)に黒羽のホテル花月で、3年ぶりとなる第一グループのインターシティーミーティングが開催されました。黒磯クラブからはヘイデン君を含め13名が参加し、西那須野・大田原・大田原中央・黒羽と黒磯の5クラブ総勢約40名が集まりました。感染予防の対策を万全に行ない開催に漕ぎつけた訳ですが、開催の判断をする時期には、まだまだ

本日のお客様

- 国際ロータリー第2550地区
 2022~23年度交換留学生
 ヘイデン・ロバート・ミッシェル君

出席報告 時庭稔委員 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 3月1日	35(8)	30(6)	5(2)	90.9%	—	—
前回 2月15日	35(8)	30(5)	5(3)	93.8%	0	93.8%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール aqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp



懇親会を伴う会合に慎重な時期でしたので、まさに開催という大英断を下された事は実行委員会の皆さんが、一方ならぬ苦労の上決断された事でしょう。改めてここに感謝する次第です。しかし、塩原・那須の名前がない事に一抹の寂しさを覚え、改めて会存続の為に会員増強の必要性を実感させられました。

今回のIMは大田原中央の森本敬三パストガバナーのガバナー時代の苦労話と各クラブの上期報告となりました。コロナによる会合自粛の中、会合や例会等をweb開催する手段を模索し、当時の地区IT推進委員の秋間会員が奔走された事への感謝の言葉を何度も口にされておりました。当時の森本ガバナーは本当にご苦勞されていた事が、その言葉からも分かります。私も上期報告をさせて頂きましたが、その内容は既に2月22日に配布された会報に載せて頂きましたので、ご覧になっている方もいらっしゃるかと思います。IMはスムーズに滞りなく進行し、懇親会にも華が咲き、久しぶりに第一グループとしての楽しいひとときを過ごす事ができました。

会場となったホテル花月は、来る3月25・26日で将棋の王将戦第7戦が予定されており、藤井聡太王将と羽生善治9段の対戦となります。2月25・26日の第5戦は藤井王将が勝利し、藤井王将の3勝2敗となっております。王将戦は7番勝負ですので、3勝3敗にならないと実現しませんが、是非とも実現して欲しいものです。昨今の藤井五冠旋風で将棋ファンが黒羽に詰めかけて来る事でしょう。対局中の食事やおやつが全国版のニュースで報道され、売り切れ状態が続くそうです。

しかし、どの様な方法で場所を決めているのか調べてみたところ、将棋連盟の公式サイトに、「七大タイトル戦では、全国のホテル・旅館で対局を行うことは古くからの慣例ともなっています。開催者となるホテル・旅館では、対局者や関係者、将棋ファンなど多くの人に宿泊してもらい、また新聞等のメディアで取り上げられることで、宣伝効果も見込めるなどのメリットがあります。」と書かれており、ある意味将棋連盟は、地域活性

に強く協力されています。偏りがない様に、その方法は公募との事でした。

その中でホテル花月は、昨年の王将戦第3戦でもその舞台となっており、因みに初日の食事は当時の藤井四冠が「与一和牛のステーキ丼」、渡辺王将が「与一和牛のビーフカレー」で2日目はお二人とも「与一和牛のビーフカレー」でした。おやつは「とちおとめジュース」や「いちごのショートケーキ」などの地元で因んだおやつを食べています。将棋ファンには同じ物を注文される方も多く、一次的かもしれませんがちょっとしたブームになるそうです。いつ頃から七大タイトル戦でホテル・旅館を利用される事になったかは不明ですが、ホテル花月さんは将棋ブームを取り込み、売上拡大への努力を行っています。その日頃の地道な努力が結果となって対局場所という結果に現れたのかもしれませんが。我々も道は違いますが、仕事に対して弛まぬ努力をしていく事が大切に思えました。

3月に入りいよいよ春めいてまいりました。コロナ感染状況も右肩下がりの傾向が続いております。マスクを外す日も近い事でしょう。しかし今年は花粉の飛散が昨年よりはるかに多いと予想されております。私を含め辛い時期に感じる方は多いと思いますが、春の訪れは気持ちを明るくしてくれます。冬籠りしている虫が地上に出てくる啓蟄は3月6日です。季節の変わり目は何かと体調を崩しやすいのでご注意ください、草木が芽吹く春の到来を待つことにいたしましょう。

幹事報告 大島三千三幹事



1. 本日例会終了後理事役員会を開催します。
2. 栃木いのちの電話より寄付のお礼状とRYLAセミナー報告書を回覧致しました。

<理事役員会議事録(3月1日)>

1. 4月のプログラムについて
4月5日(観桜会) 内容について
参加者負担金 1名4,000円
アトラクション(空手) 50,000円 承認
4月12日例会内容について

秋間忍地区委員の卓話 承認

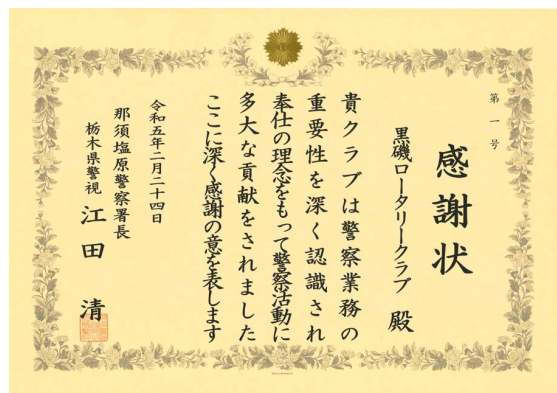
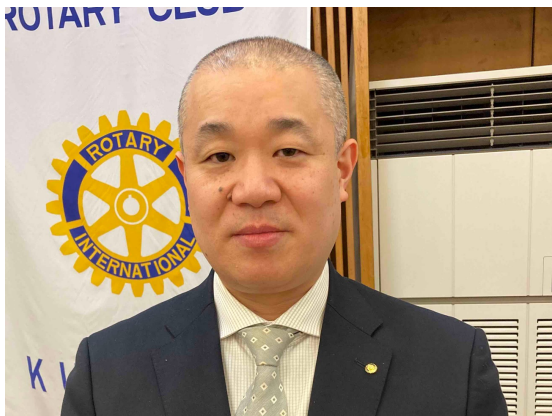
4月19日例会内容について 計画中

- 4月23日(日)足尾植樹(社会奉仕委員会担当)について参加する。内容検討中(地区の連絡待ち)
 - 2023-2024年度・地区補助事業について那須町公立保育園4園が行う、防災に関する幼児用防災ずきん備蓄計画を支援する。地区補助金申請額219,000円クラブ拠出金24,760円 合計243,760円 承認
 - 社会奉仕委員会で寄贈マスクの一時保管に田中鍍金工業の倉庫借用について御礼10,000を支出する。承認
 - 例会会場使用料(食事も含む)見直しについて改定することについて 承認
- 石山様と検討の上、2022-2023年度で決定し、次年度から運用する。

寄贈先の明細は後日会報に掲載いたします。それと、付け加えますが2月24日(金)那須塩原警察署に出向きマスクの寄贈をしてきました。その返礼として感謝状を頂きましたのでこの後の植竹会長挨拶でお披露目をして頂きます。終わりになりますが皆様のご協力に感謝申し上げます



委員会報告 藤崎善隆副会長



社会奉仕委員会 鳥居輝一委員長



社会奉仕委員会からのご報告です。マスク寄贈の件になります。本日でマスク約106,000枚の寄贈が終了いたしました。寄贈先は福祉施設・介護施設・公的機関・病院・保育園・幼稚園などを中心にマスク寄贈を行いました。

ゴルフ愛好会 井出法会長



ゴルフ愛好会からの連絡を申し上げます。植竹年度第1回ゴルフ大会を、令和5年3月26日(日)に、那須黒羽ゴルフクラブで開催致します。詳細等、後日メールにお送りさせていただきますが、ご都合のつく方は、是非ご参加の程よろしくお願ひいたします。

ヘイデン君移動 村山茂会員

昨日、ヘイデン君を次期ホストファミリーの石山桂子さんにお預けしました。半年間、楽しい生活を過ごさせて頂きました。夫婦二人ではなかなか足が向かない様な所も、ヘイデン君と共に出かけることができました。

皆様のご支援ご協力に感謝申し上げ、ご報告と致します。ありがとうございました。

○ テニス講習会案内 秋間忍会員



那須塩原市教育委員会からご後援をいただいて、女性プロテニスプレーヤー今西美晴さんをお招きし、市民テニス講習会を開催いたします。皆様にパンフレットをお配りしましたので市民の皆様へ周知、拡散の程宜しくお願い申し上げます。



ニコニコボックス

檜山達郎副委員長



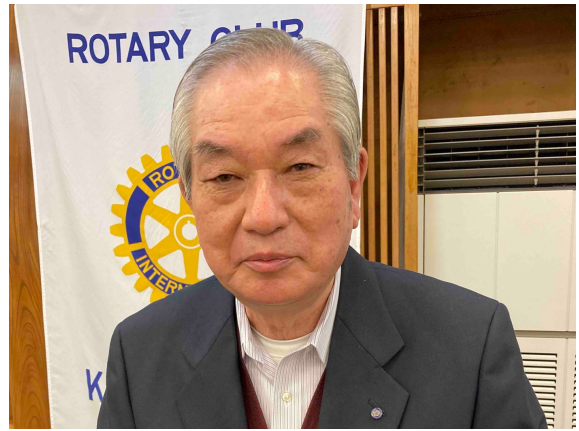
- 浜木大治君 新居が完成しました。快適です。
- 安藤譲治君 誕生祝ありがとうございます。
- 石山桂子君 今日からヘイデン君のお世話を致します。よろしくお願ひ致します。



本日の卓話

那須野が原郷土史研究会
会長 野崎賢治 様

○ 講師紹介 鈴木久雄雑誌委員長



本日の例会は、北那須郷土史研究会野崎賢治先生をお招きして「大田原城攻防戦」那須地区の戊辰戦争という演題で卓話をいただきます。

プロフィール

学歴 宇都宮大学教育学部卒業

職歴 大田原市内、那須塩原市内の小中学校
教諭・教頭・校長を歴任

著書等「那須の戦国時代」「那須の戊辰戦争」「那須の太平洋戦争」そのほか多くの書籍の編集、執筆に携わっております。

○ 卓話

「大田原城攻防戦」一那須地区の戊辰戦争一
野崎 賢治

155年前、栃木県内における戊辰戦争では、宇都宮城と大田原城で城を巡っての攻防戦が行われました。



閏4月中旬以降、いち早く新政府方につくことを表明していた大田原藩に、新政府軍（長州藩、薩摩藩、忍藩、大垣藩）が入りました。そして、大田原城から板室や関谷の戦いに出撃していきました。板室の戦いで敗退した旧幕府軍は三斗小屋に撤退しました。そこで、会津藩などから補給を受け、大鳥圭介が指揮する伝習隊の500名を中心に軍を再編成し、1,000名の部隊で大田原城を攻撃しようとして会津中街道を南下してきました。

5月1日、新政府軍の主力は伊地知正治の指揮のもと、白河城の攻略に成功し、占領した白河城で、取り戻そうとする旧幕府軍に対峙してました。5月2日、百村を出発した旧幕府軍は800名と200名に分け、大田原城の攻撃に向かいました。この時、大田原城の守備兵は100名でした。大田原兵は荒町口などの木戸で守っていましたが、打ち破られ二の丸に旧幕府軍が迫ってきました。そこに、鍋掛や芦野にいた大田原兵が急いで戻って本丸に入り、旧幕府軍と激しい戦闘になりました。旧幕府軍は坂下門を破り、二の丸にせまってきました。大田原兵は権現筒を持ち出し旧幕府軍に対して撃ちはじめました。攻めあぐんだ旧幕府軍は武家屋敷や町屋に火を放ちました。その火が坂下門の南にあった新政府軍の弾薬を貯蔵している作事小屋に入り、大爆発を起こしました。この爆発で旧幕府軍は驚き、撤退し始めました。また、城を守りきれないと判断した大田原兵も搦手門から中田原山へ撤退しました。そして、大田原は焼け野原となってしまいました。



大田原城址にある大田原城之図

このように、大田原城の攻防戦は双方が撤退するという極めて珍しい戦いとなりました。旧幕府軍にとって、大田原城を攻略できなかったことは大田原城の戦略的な重要性から考えるとたいへんな痛手となりました。



SAA担当 永山三芳副SAA



誕生・結婚祝 金澤菰子親睦委員



出席報告 時度総出席委員

3月1日欠席者（敬称略）
荒井昌一 泉道夫 北畠大輔 吉光寺政雄
瀧田雅仁

前回2月15日分メイクアップ（敬称略）
（なし）

次回例会 令和5年3月15日 卓話担当 ロータリー情報委員会

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105
○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：秋間忍・村山茂・和氣勝利・瀧田雅仁